

インド ウェルネスツーリズム パンチャカルマツアー 28年継続の視点から見える成功のカギ



中川 真紀子

Nakagawa Makiko

Satvik アーユルヴェーダスクール
代表

アーユルヴェーダによる究極のデトックス、パンチャカルマ。インドで2～3週間かけて毒素を排泄し、カラダを立て直すための治療法である。

Satvik社は28年前から、日本人患者によるツアーを行ってきた。インド独特の諸事情、日本人のメンタリティ、パンチャカルマ治療の独特さなどを踏まえて、治療を成功に導くための経験を蓄積してきた。治療とツアーの成功のために必要なことは何か？そこには、アーユルヴェーダの本質が隠れている。

略歴

1962年東京生まれ。国際基督教大学卒業後、欧州・中東などの滞在を経て、ニュースステーション、サンデーモーニングなどの報道番組に参画。1998年、師匠であるDr.Sadananda Prabhakar Sardeshmukh 博士に出会う。以来数千名の診療に立ち会い臨床経験を重ねる。日本アーユルヴェーダスクール専門科コース、大阪アーユルヴェーダ研究所薬理学コース卒業。現在も毎年インド各地の病院での研修を続けている。アーユルヴェーダをとりいれている医療機関、ハタイクリニックでセラピストとして治療にあたる一方、アーユルヴェーダ専門の通訳として会議、セミナーでも活躍。日本アーユルヴェーダ学会の学会誌「シャーンティ・マールガ」の編集長も勤めた。

所属団体等

日本アーユルヴェーダ学会理事